



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月29日

上場会社名 東邦チタニウム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5727 URL https://www.toho-titanium.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山尾 康二  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部企画グループマネージャー (氏名) 留場 啓 TEL 045-394-5521  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	11,810	48.1	1,247	268.4	1,242	—	784	—
2021年3月期第1四半期	7,973	△23.6	338	△57.1	△298	—	△402	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 775百万円( —%) 2021年3月期第1四半期 △382百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	11.02	—
2021年3月期第1四半期	△5.65	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	92,811	44,644	48.0
2021年3月期	91,149	44,459	48.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 44,515百万円 2021年3月期 44,327百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,600	54.3	1,800	67.4	1,700	—	1,000	—	14.05
通期	51,800	43.3	4,000	27.6	3,700	—	2,400	—	33.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2021年7月29日)公表いたしました「2022年3月期 第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	71,270,910株	2021年3月期	71,270,910株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	98,211株	2021年3月期	98,177株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	71,172,710株	2021年3月期1Q	71,172,959株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による個人消費の低迷を受け、非製造業が依然として厳しい状況に置かれている一方、欧米等の先進国経済の回復や中国経済の底堅さによる輸出型製造業で持ち直しの動きも見られている等、業種によって景況感にばらつきが見られました。

当社を取り巻く足元の事業環境としては、チタン事業の持ち直しや電子部品材料の好調さに牽引された需要拡大が見込まれるものの、原材料価格の高止まり、エネルギーコストの上昇に加え、輸出輸送コストの大幅上昇等による業績の下振れ懸念や、米中貿易摩擦の再燃懸念など製品需要の先行き不透明感は払拭できていません。

こうした中、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高118億10百万円(前年同期比48.1%増)、営業利益12億47百万円(同268.4%増)となりました。経常利益は12億42百万円の利益(前年同期は2億98百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損益は7億84百万円の利益(前年同期は4億2百万円の損失)となりました。

### 中期経営計画の進捗とESG経営の推進

当社2020年～2022年中期経営計画の基本方針のひとつに挙げている「成長分野への重点投資による収益基盤の強化」に関して、その主要施策のひとつである「ニッケル粉新工場(第4工場)」が2021年4月に竣工しました。なお現在は早期かつ円滑な生産立ち上げに取り組んでおり、業績面での寄与は2021年度第3四半期以降が見込まれていません。

当年度からは、新たに全社レベルでESG経営に取り組むべく推進体制の整備を開始しております。その推進活動のひとつとして、チタン新製錬技術の中核とした施策により、2050年カーボンニュートラルの実現を目指すロードマップを策定し、本年5月に公表しております。

セグメントの業績は次の通りであります。

#### 金属チタン事業

当第1四半期連結累計期間における金属チタンの販売に関しては、主に一般工業用途向けであるインゴット販売が引き続き低調に推移したものの、航空機用途向けを主とするスポンジチタンについては、前年度から先送りされてきた製品引き取りを含む、顧客による一時的な在庫積み増しによる販売増等により、前年同期を上回る水準で推移しました。さらに半導体用途向け高純度チタンの需要は引き続き堅調に推移しました。なお、当社チタン事業の需要動向を総体的に見ると、主力製品であるスポンジチタン需要に回復の兆しが見られ、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けサプライチェーン全体で生産活動が停滞した前年度の最悪期からは脱しつつあるものと推定されます。

しかしながら、業績面をみると前年度の低稼働時に生産された高単価在庫品の払出と、スポンジチタン増販でのボリュームディスカウントによる平均製品価格の低下等により、前年度に比較しマージンは悪化しています。

こうした状況のもと、同期間の金属チタン事業は、売上高は58億16百万円(前年同期比44.5%増)、営業損失は72百万円(前年同期は29百万円の利益)となりました。

#### 触媒事業

当第1四半期連結累計期間における触媒の販売に関しては、主要製品であるプロピレン重合用触媒の顧客市場において包装用途、医療用途向けが好調に推移したことに加え、前年度末に販売予定であった製品の一部期ズレ計上の影響も加わり、前年同期を上回る水準となりました。

こうした状況のもと、同期間の触媒事業は、売上高は19億71百万円(前年同期比26.5%増)、営業利益は8億68百万円(同59.8%増)となりました。

#### 化学品事業

当第1四半期連結累計期間における化学品の販売に関しては、主要製品であるニッケル粉の主な用途である積層セラミックコンデンサー(MLCC)が、前年度前半のコロナ禍影響による需要減退から回復したことに加え、5G通信関連の需要増、さらに巣ごもり需要等の効果でPC・タブレットの販売が好調に推移したことにより、前年同期を大幅に上回る水準となりました。

こうした状況のもと、同期間の化学品事業は、売上高は40億22百万円(前年同期比68.3%増)、営業利益は13億73百万円(同161.8%増)となりました。

## セグメント別連結売上高

(単位：百万円)

区分	2022年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増減率
金属チタン事業	5,816	4,025	44.5%
触媒事業	1,971	1,558	26.5%
化学品事業	4,022	2,390	68.3%
合計	11,810	7,973	48.1%

## セグメント別連結営業利益

(単位：百万円)

区分	2022年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増減率
金属チタン事業	△72	29	－%
触媒事業	868	543	59.8%
化学品事業	1,373	524	161.8%
全社費用	△921	△758	—
合計	1,247	338	268.4%

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、売掛債権等の減少はありましたが、有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末比16億62百万円増の928億11百万円となりました。

負債の部は、借入金の増加を主因に、前連結会計年度末比14億76百万円増の481億66百万円となりました。

純資産の部は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末比1億85百万円増の446億44百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.6%から48.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第1四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、2021年5月7日に公表いたしました第2四半期累計期間の連結業績予想を修正致しました。詳細につきましては、本日(2021年7月29日)公表の「2022年3月期 第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,534	2,410
受取手形及び売掛金	7,132	6,649
電子記録債権	110	123
商品及び製品	18,670	19,133
仕掛品	5,069	4,830
原材料及び貯蔵品	8,870	8,714
未収入金	2,151	2,191
その他	567	388
流動資産合計	45,106	44,441
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,942	13,798
機械装置及び運搬具（純額）	16,849	18,907
工具、器具及び備品（純額）	261	264
土地	2,219	2,219
リース資産（純額）	2,411	2,331
建設仮勘定	8,146	6,844
有形固定資産合計	41,830	44,366
無形固定資産		
ソフトウェア	141	1,233
ソフトウェア仮勘定	1,144	93
その他	37	35
無形固定資産合計	1,323	1,362
投資その他の資産		
投資有価証券	6	6
関係会社株式	187	189
繰延税金資産	2,065	1,868
退職給付に係る資産	359	362
その他	272	216
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,889	2,640
固定資産合計	46,042	48,369
資産合計	91,149	92,811

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,214	2,395
短期借入金	20,271	18,496
リース債務	468	464
未払法人税等	352	178
賞与引当金	567	406
役員賞与引当金	—	28
その他	3,004	3,611
流動負債合計	26,878	25,579
固定負債		
長期借入金	16,352	19,032
リース債務	2,276	2,161
資産除去債務	1,183	1,394
固定負債合計	19,811	22,587
負債合計	46,690	48,166
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,963	11,963
資本剰余金	13,022	13,022
利益剰余金	19,710	19,904
自己株式	△77	△77
株主資本合計	44,619	44,813
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	7	10
為替換算調整勘定	△452	△453
退職給付に係る調整累計額	151	144
その他の包括利益累計額合計	△292	△297
非支配株主持分	132	128
純資産合計	44,459	44,644
負債純資産合計	91,149	92,811

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	7,973	11,810
売上原価	6,193	8,698
売上総利益	1,780	3,111
販売費及び一般管理費	1,441	1,863
営業利益	338	1,247
営業外収益		
為替差益	19	19
物品売却益	3	10
受取技術料	8	—
持分法による投資利益	—	3
その他	6	10
営業外収益合計	37	44
営業外費用		
支払利息	38	44
持分法による投資損失	624	—
その他	11	4
営業外費用合計	675	49
経常利益又は経常損失(△)	△298	1,242
特別損失		
固定資産除却損	3	12
特別損失合計	3	12
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△302	1,230
法人税、住民税及び事業税	8	159
法人税等調整額	91	290
法人税等合計	100	449
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△402	781
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△402	784



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△402	781
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△9	2
為替換算調整勘定	△4	△1
退職給付に係る調整額	5	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	29	—
その他の包括利益合計	20	△5
四半期包括利益	△382	775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△381	779
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、顧客との契約における対価に変動対価が含まれている場合には、変動対価の額に関する不確実性が事後的に解消される際に、解消される時点までに計上された収益の著しい減額が発生しない可能性が高い部分に限り、変動対価を取引価格に含めております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は83百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益も同額増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は163百万円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン 事業	触媒事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,025	1,558	2,390	7,973	—	7,973
セグメント間の内部売上高 又は振替高	417	—	1	418	△418	—
計	4,442	1,558	2,391	8,392	△418	7,973
セグメント利益	29	543	524	1,097	△758	338

(注) 1. セグメント利益の調整額△758百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン 事業	触媒事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,816	1,971	4,022	11,810	—	11,810
セグメント間の内部売上高 又は振替高	504	—	0	505	△505	—
計	6,320	1,971	4,023	12,315	△505	11,810
セグメント利益	△72	868	1,373	2,168	△921	1,247

(注) 1. セグメント利益の調整額△921百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。